

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」は、第119期から第124期の決算を行いました。

当ファンドは外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」を通じて、米国リートとオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を実質的に構築することで相対的に高い配当利回りの獲得と中長期的な信託財産の成長、およびオプション料（プレミアム）収入の獲得を目指して運用を行います。また、米ドル（対円）の為替変動とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築することで、円から米ドルへの投資成果に加え、オプション料（プレミアム）収入の獲得を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

米国リート・プレミアムファンド （毎月分配型） 通貨プレミアム・コース

商品分類（追加型投信／海外／不動産投信（リート））

第21作成期

第119期（2022年8月22日） 第122期（2022年11月21日）

第120期（2022年9月20日） 第123期（2022年12月20日）

第121期（2022年10月20日） 第124期（2023年1月20日）

作成対象期間：2022年7月21日～2023年1月20日

第124期末（2023年1月20日）	
基準価額	1,511円
純資産総額	4,097百万円
第119期～第124期	
騰落率	△11.5%
分配金合計	180円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

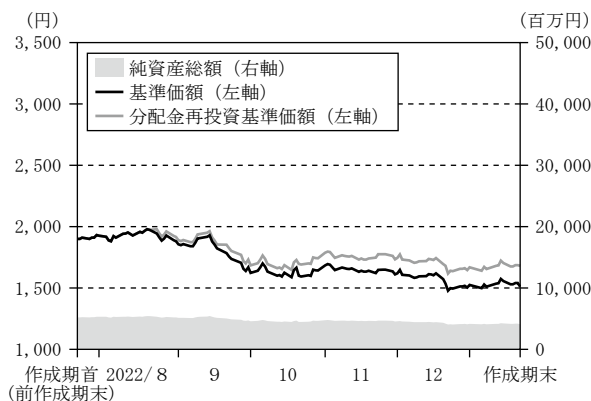
投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



第119期首：1,899円

第124期末：1,511円（既払分配金180円）

騰落率：△11.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年7月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」において、主に米ドル円為替の変動に加え、米国リート価格の下落がマイナス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）	△11.1%
T & Dマネープールマザーファンド	△ 0.0

1 万口当たりの費用明細

項目	第119期～第124期		項目の概要
	2022/ 7 / 21～2023/ 1 / 20		
	金額	比率	
平均基準価額	1,705円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	12円 (4) (8) (0)	0.682% (0.222) (0.444) (0.017)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.017 (0.017)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.008 (0.008) (0.000)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	12	0.707	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

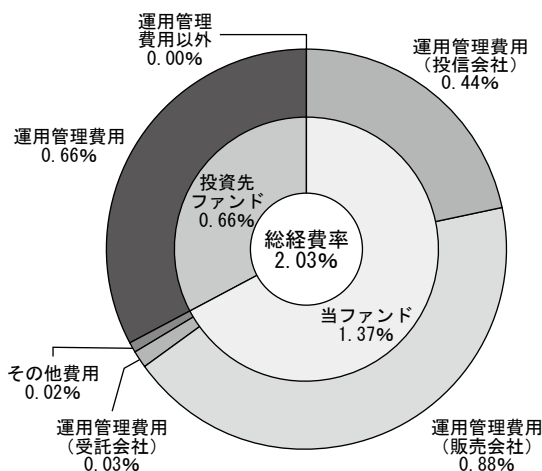
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.03%です。



総経費率 (①+②+③)	2.03%
①当ファンドの費用の比率	1.37%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.66%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

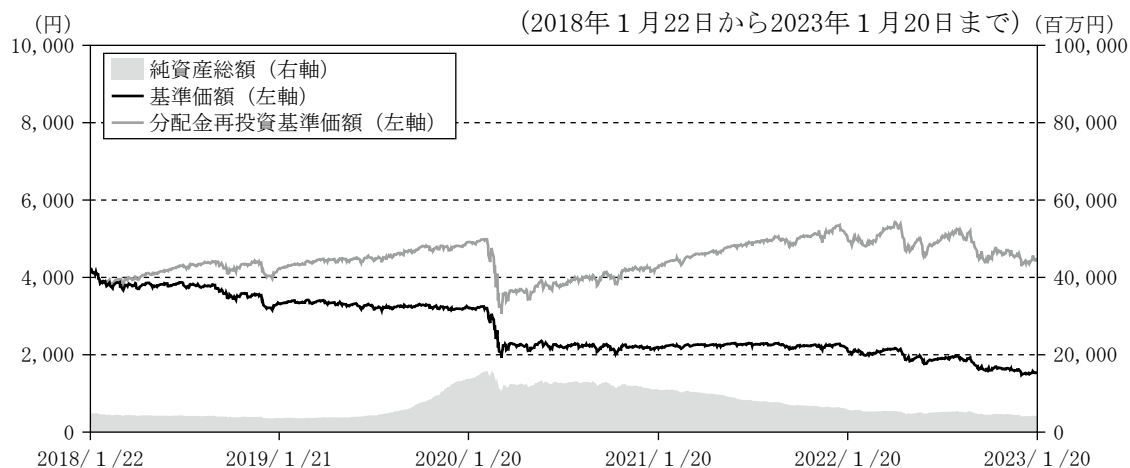
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年1月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年1月22日 期初	2019年1月21日 決算日	2020年1月20日 決算日	2021年1月20日 決算日	2022年1月20日 決算日	2023年1月20日 決算日
基準価額（分配前）（円）	4,142	3,320	3,207	2,159	2,104	1,511
期間分配金合計（税込み）（円）	—	900	600	570	420	390
分配金再投資基準価額の騰落率（％）	—	2.3	16.0	△ 13.3	17.7	△ 11.1
純資産総額（百万円）	4,915	3,629	13,684	10,929	5,810	4,097

(注) 当ファンドは米国リートとオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■ 米国リート市場

米国リート市場は下落しました。作成期初から2022年8月前半は、7月の米CPI（消費者物価指数）とコアCPI（食料とエネルギーを除く）の伸びが前月比で市場予想以上に鈍化したと共に、7月の米PPI（生産者物価指数）の伸びが前月比でパンデミック直後以来のマイナスに転じ、米国のインフレ懸念が後退したこと等から、同市場は上昇しました。8月後半からは、8月の米コアCPIの前月比の伸びが市場予想に反して加速し、米国のインフレ長期化への懸念が再燃したこと、9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）にて3会合連続で大幅な利上げの決定と共に、FRB（米連邦準備制度理事会）の政策金利見通しが大幅に引上げられたこと等を材料に、同市場は下落に転じました。10月後半以降は、12月のFOMCでFRBが政策金利見通しを市場の想定以上に引上げた一方、米国経済の見通しを引下げ、過度な利上げによる景気後退懸念が強まったこと等から、同市場は一時下落する場面もありましたが、10月と11月の米CPIとコアCPIの伸びが前年同期比で市場予想以上に鈍化したことと共に、12月の米雇用統計にて賃金の伸びが市場予想以上に鈍化し、高インフレへの警戒が和らいだこと、中国政府による新型コロナウイルス対策の規制緩和による中国経済の回復期待等を受け、同市場は緩やかな上昇基調で推移しました。

■ 為替動向

米ドルは対円で下落しました。作成期初から2022年8月上旬は、7月の米CPIやPPIの伸びが前月比で市場予想以上に鈍化し、FRBの利上げペース鈍化期待が高まったこと等から、米ドルは対円で下落しました。8月中旬からは、8月の米コアCPIの前月比の伸びが市場予想に反して加速し、FRBによる利上げ長期化懸念が再燃したこと、9月のFOMCにて3会合連続で大幅な利上げの決定と共に、政策金利見通しが大幅に引上げられたこと等を受け、米ドルは対円で上昇しました。10月下旬以降は、10月と11月の米CPIとコアCPIの伸びが前年同期比で市場予想以上に鈍化したことと共に、12月の米雇用統計にて賃金の伸びが市場予想以上に鈍化し、FRBの利上げペース鈍化期待が強まったこと、日銀が金融政策決定会合で予想外に長期金利の変動許容幅拡大を決定したこと、日本のインフレ加速が続いていること等を材料に、米ドルは対円で下落基調となりました。

■ 国内短期金融市場

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.15\%$ から作成期末は $\Delta 0.17\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」を高位に組入れ、「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

■ クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手方とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、当該取引を通じて実質的に、iシェアーズ 米国不動産ＥＴＦと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果の享受を目指す運用を行いました。

■ Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は０％としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

*iShares®（iシェアーズ®）はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」について出資、発行、保証、販売および販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディングおよび販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1 万口当たりの分配金（税込み）は分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第119期から第121期まで各35円、第122期から第124期まで各25円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1 万口当たり、税引前）

項目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
	2022年7月21日 ～2022年8月22日	2022年8月23日 ～2022年9月20日	2022年9月21日 ～2022年10月20日	2022年10月21日 ～2022年11月21日	2022年11月22日 ～2022年12月20日	2022年12月21日 ～2023年1月20日
当期分配金	35	35	35	25	25	25
（対基準価額比率）	1.769	1.924	2.141	1.518	1.602	1.628
当期の収益	33	31	32	25	23	22
当期の収益以外	1	3	2	—	1	2
翌期繰越分配対象額	1,148	1,146	1,144	1,152	1,150	1,149

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T&Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

■ クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）

担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ 米国不動産ETFへの投資と米国リートのコールオプションの売却を行い、安定した配当収入の確保と値上がり益の獲得を目指します。加えて、当クラスでは比較的短期の米ドル・円のコールオプションの売却も行い、為替オプション取引の投資成果を享受することを目指します。

■ T&Dマネープールマザーファンド

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

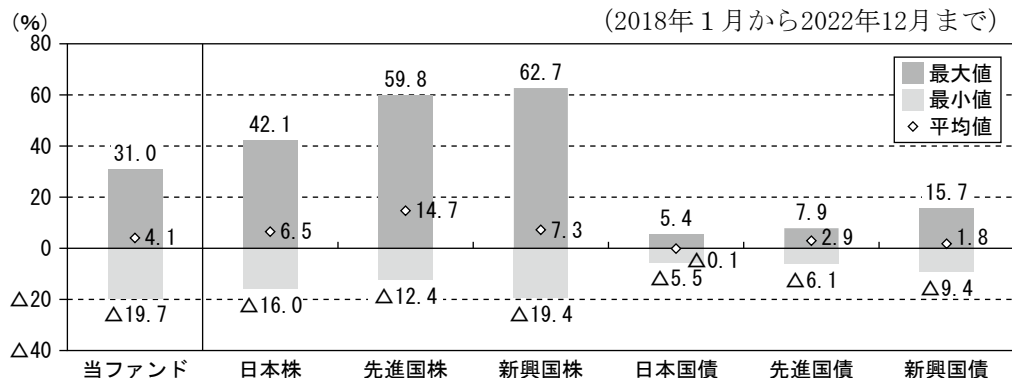
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当 該 投 資 信 託 の 概 要

商 品 分 類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）	
信 託 期 間	2012年 8 月 31 日から 2025 年 4 月 21 日まで	
運 用 方 針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主 要 運 用 対 象	外国投資信託証券である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」および親投資信託である「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）	主として担保付スワップ取引を投資対象とし、当該取引を通じて、実質的に、iシェアーズ米国不動産ETFと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果と、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。
	T&Dマネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時（毎月20日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記は、2018年1月から2022年12月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）※1

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）※2

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）※3

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債※4

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）※5

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）※6

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数（TOPIX）とは、株式会社JPX総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研に帰属します。

※2 MSCI コクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

※3 MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

※4 NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※5 FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。

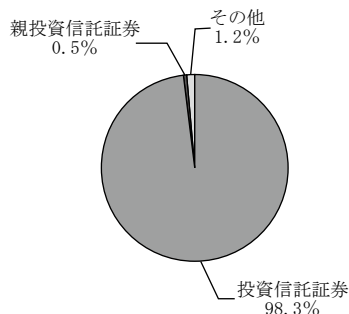
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

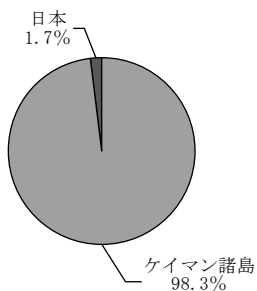
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	第124期末
	2023年1月20日
	比率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）	98.3%
T&Dマネープールマザーファンド	0.5
その他	1.2

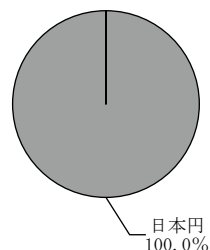
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



（注）組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

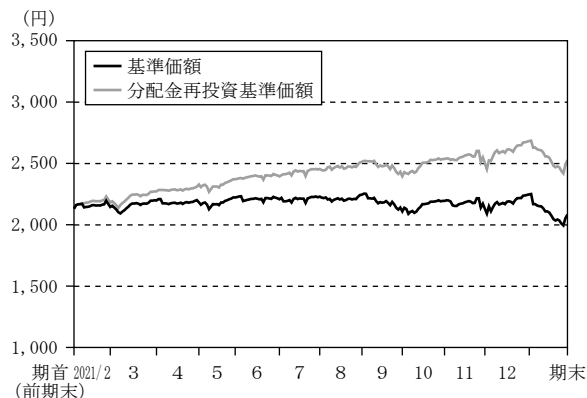
項目	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末
	2022年8月22日	2022年9月20日	2022年10月20日	2022年11月21日	2022年12月20日	2023年1月20日
純資産総額	5,301,404,153円	5,029,062,366円	4,473,571,405円	4,592,535,714円	4,195,739,245円	4,097,310,618円
受益権総口数	27,279,765,007口	28,183,767,689口	27,961,979,743口	28,309,128,774口	27,316,649,715口	27,123,381,876口
1万口当たり基準価額	1,943円	1,784円	1,600円	1,622円	1,536円	1,511円

（注）当作成期間（第119期～第124期）中における追加設定元本額は4,733,702,510円、同解約元本額は4,957,893,287円です。

組入上位ファンドの概要

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）（2021年2月1日から2022年1月31日まで）

■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2021年1月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下はクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－USリート・プレミアムファンドの状況です。

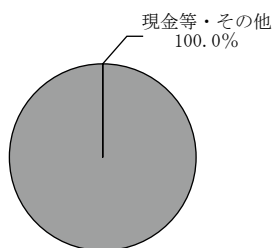
■ スワップ取引の状況

想定元本額	評価額	比率
983,809,755円	294,701,196円	5.0%
27,130,816,718	5,653,709,504	95.0

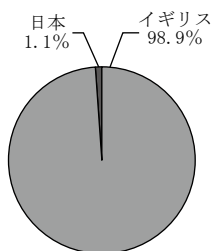
■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

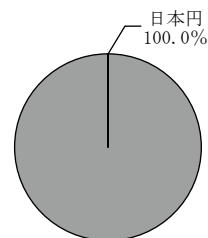
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) スワップ取引の状況および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。

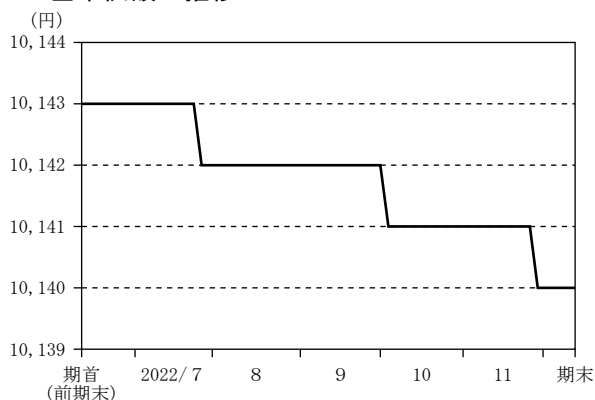
(注) スワップ取引の状況および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

※スワップ取引および各配分はバンクオブニューヨークメロン証券およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

T & Dマネープールマザーファンド（2022年6月11日から2022年12月12日まで）

■ 基準価額の推移



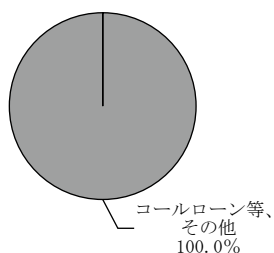
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

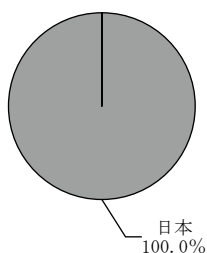
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2022/ 6 /11～2022/12/12	
	金額	比率
平均基準価額	10,141円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

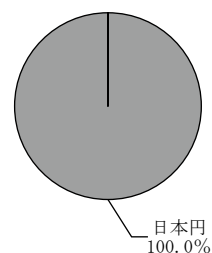
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。